

子育て支援情報紙

えんぜる

第312号



令和 6年 5月 1日
足寄町教育委員会
TEL 0156-25-3188
▶バックナンバーはこちら

5月

子育て支援カレンダー

紙 面

二面・・・保護者の目線で情報『家庭教育の「辛さ」と「幸せ」とは』
 三面・・・お勧めの本『子育て「きょうご」』と『ママとパパのおはなこ』・子育てエッセイ
 四面・・・休憩室・編集後記

日	月	火	水	木	金	土
			1 おはなし「たんぽぽ」 11:00~11:30 対象：3歳未満	2	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日	7 えんぜる編集会議 11:00~	8 ひよこクラブ	9	10	11
12	13	14	15	16 「すくすく」 10:10~11:50 町民センター会議室1・2	17	18
19	20	21 つどいの広場 お楽しみ会 10:00~	22 ひよこクラブ	23	24	25 絵本の会はらっぱ 11:00~11:30 対象者：どなたでも
26	27	28 リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	29 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	30	31	

つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週：月・火・木・金の9:30~11:30 事前予約不要、詳細は：TEL25-4415まで
 ひよこクラブ ⇒ 詳細はつどいの広場と児童館に掲示してあるポスターをご覧ください。問い合わせは：TEL25-4415まで

☆「えんぜる編集員」募集中☆

子育て世代の編集委員を募集しております。ご協力いただける方は、下記までご連絡ください。

(足寄町教育委員会 生涯学習室生涯学習担当 福原 電話0156-25-3188)

元学校の先生をつぶやき！

家庭教育の『辛さと幸せ』とは



子育ての『辛さ』とは、たった「一」の文字を加える努力をするだけで『幸せ』になれるものですよ。子どもの成長は真ん中が大切です。保育園の年中さん、小学校の3・4年生、中学校2年生のど真ん中が、心と体を成長させる時期なのです。一般的に反抗期と言われる時期ですよ！

親は子どもの成長時期をしっかりと見つめ、ゆったりとした心で背中を押す親でありたいですよ！そこで、下記のような悩みを抱えた子育て中のお母さんからの叫びを掲載してみました。子育ての参考にしてみてください。

上の子（小3）の口ごたえや反抗的態度がひどくなって来ているように感じます。
この時期の親は、どういう態度で接することがいいのでしょうか…？ ○○先生。
(小3女兒のお母さんの悩みから)

☞ 教育アドバイザー（元学校の先生がお答えします）

小3・4年生は、ギャングエイジと言われる時期です。お母さんからすると「人の気持ちを踏みにじり、自分の意見や主張ばかりを通す」と思っているのではないかと思います。子どもの成長には、この時期が大切なのです。自我が目覚め、大きく心が成長する最も大切な時期なのです。本人からすると「姉としての我慢や学校でのお友達への気づかい」など、子どもなりの苦労があるのです。お父さんは「お仕事で大変だし」、お母さんは「可愛い弟だけど、お母さんを奪ってしまう憎い弟だし」「その弟ばかり可愛がって、私なんてどうでもいいんだ」とか、「辛いなあ〜」などと思っているかもしれません。この時期こそ、親の愛情を本人に感じさせる最大のチャンスなのです。本人は知らずに親の愛情が欲しくて強がって反抗している時期なのです。特に、学校から帰ってきた時などは、話をしっかり聴いてあげる事（聴き上手なお母さん）が大切なのですよ。弟を抱っこしながらでも、しっかり本人の目を見ながら話を聴いてあげられる、そんな聴き上手なお母さんがここにいるだけで安心するのです。そして、心豊かで思いやりの心を持った優しい子に育てて行くのだと思います。

さらに、姉としての自覚を育てるためには、心配でしょうが身近な距離やおじいちゃんおばあちゃんの家まででもいいのですが、『一人バス旅行』などをさせてみてはどうでしょうか。もちろんお父さんと相談し、お父さんも心配になると思うので、行き先の場所まで車で先回りして、本人に気づかれないように見守ってあげれば良いと思います。『一人バス旅行』の計画は本人と親でしっかりと計画を立て、本人が実行する勇気が出たら親として思いっきりやらせてみてはどうですか……。本人が旅行から戻った時には、大人になって帰ってくると思いますよ。バスから降りた時には、お母さんは弟と手を握り、お父さんがしっかりとお姉ちゃんを抱きしめてやって下さい。そして、本人も陰で応援していたお父さんを尊敬すると思います。ますます、大好きなお母さんになり、お母さんやお父さんに近づきながら、そして離れながらも姉としての自覚をもって、弟とも接するのではないかと思います。

また、もう一つのやり方としては、本人のやりたい少年団や習い事を積極的に頑張らせてはどうでしょうか。親としてルールを引くのではなく『自分の力で選び、自分のやりたい事を自分で決める』そんな年齢にもなっていると思います。やってみる勇気を家族みんなで見つけてあげて欲しいと思います。

最終的には、子どもは反抗期を重ねながら大人への階段を昇り、本当の大人になっていくのだと思いますよ。それが子育ての喜びであり、悲しさや苦しさでもあるのです。チョットの「辛さ」をたった『一』の字を加える努力で「幸せ」を子ども達に与えて上げて下さい。がんばれお父さん・お母さん。



青爺（G）先生より
(執筆はR6年3月末のもの)

私が見つけたお勧めの「本」

『にげて さがして』

著者：ヨシタケシンスケ 出版社：赤ちゃん和妈妈社

4月、みなさんの中には転勤して足寄町に引っ越してきて、新たな環境で子育てをスタートさせた人、逆に育児休暇から復帰し仕事を再スタートさせた人がいると思います。

新しい環境でバタバタな中、毎日必死で頑張っているみなさん、お疲れ様です。新しい環境や人間関係に少しストレスを感じていませんか？

私はこの本を読んで、5月にピッタリだと思い勧めさせていただきました。世の中にはたくさんの方がいます。誰とでも仲良く生きられるのは理想ですが、必ずしもそうではありません。なにかあったときに「逃げる」という手段があることを教えてくれた本です。読みやすいのでぜひ一度手に取っていただきたいです。



『しれとこのきょうだいヒグマ ヌプとカナのおはなし』

作・絵：あかしのぶこ 発行：公益財団法人 知床財団

近頃、人里に現れるクマのニュースが急増していますね。私も昨年初めて足寄で子グマに遭遇しました。足寄の山に10年近く住んでいますが、初めてということは本来クマも人間に会わないように暮らしているのだろうなど。この絵本でも、そんなクマの楽しそうな山での生活が描かれています。

絵本の後半には、あるきっかけから人里におりてしまうようになったクマの心も描かれており、共存を考える知床の方々的心も同時に感じる作品。

巻末には、ヒグマの生態や知識や、知床財団が行っている取り組みについての解説付き。足寄にもクマが住んでいます。クマの事をもう少し知ってみませんか。



☆子育てエッセイ☆

話してくれてありがとうございます。

話を聴きあう対話の場に参加したとき「大切な話を、話してくれてありがとう。」と言ってもらった安心感が忘れられずにいます。私が話した内容は本当に些細で他愛のない日常の気持ちや子どもとの会話。対話の場では、その内容への言葉ではなく“話したこと”に「ありがとう」と言われたのが初めてとても驚きました。

話した（打ち明けてみた）けれど、責められたり、否定された体験はありませんか？人はその体験から「どうせ話しても無駄だ。また否定される。」と大切な話も話しづらくなってしまいます。私も心に余裕がないと、子どもの話を聴いて受け止めることはなかなかできませんが、できるだけどんな些細で小さなことも「話してくれてありがとう」と受け止めるように心がけています。

その日々の積み重ねが子どもとの信頼関係を築き、子どもの心の安定につながっていくと信じています。



休憩室



『和風でしっとり！簡単白あんのパウンドケーキ』

【準備】

- バターを溶かしておきます
- 180度にオーブンを予熱します
- 桜の花の塩漬けは水につけ塩抜きをします

【材料】1本(7X20)

ホットケーキミックス 100g
 白あん 200g
 卵 2個
 はちみつ 大さじ1
 無塩バター 60g
 桜の花の塩漬け 適量

【作り方】

- ① ボウルに卵、白あん、溶かしバター、はちみつを入れ泡立て器でよく混ぜ合わせます
- ② ①にホットケーキミックスを入れ粉っぽさが無くなるまで混ぜます
- ③ 型にクッキングシートを敷き②を入れ桜の花の塩漬けを上に乗せます
- ④ ③を180度に予熱したオーブンで30分焼いたら完成です

このレシピについて

簡単！しっとり！ふんわり白あんの味がする和風パウンドケーキです。材料を混ぜて焼くだけなので誰でも簡単に作れます。

桜の花を乗せると春らしくかわいいですよ。お花見のおやつにいかがですか？

※こちらのレシピは、はちみつを使用しています。1歳未満のお子様はお召し上がりにならないようにご注意ください。



編集後記

二月にうれしいニュースが飛び込んできました。十勝管内教育実践・活動表彰において、足寄町教育委員会が表彰されました。

十勝管内教育実践・活動表彰は、十勝管内の学校教育、社会教育の向上に大きく貢献している学校や団体を表彰するもので、足寄町教育委員会とお母さんボランティアの方々との協働で、年十回子育てに関する学習会や実習などを通じて交流する「すくすく」、月一回乳幼児の衣類等を無償で提供している「リサイクルの日」、毎月情報発信している子育て支援情報紙「えんぜる」の活動が高く評価されました。

長年にわたりボランティアをしてきた先輩方のおかげで素晴らしい表彰を受賞することができました。

この受賞したことを励みに、編集委員一同、頑張っていこうと思います。

これからも子育て支援情報紙「えんぜる」をよろしく願います。

(編集委員 S・Y)